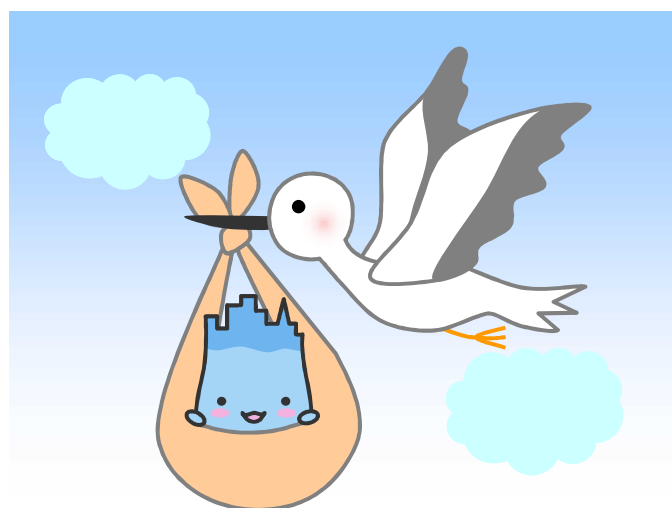


平成31年度 魚津市当初予算資料

特定政策分野 主要事業

人口減少・高齢社会強化・オリパラ対応 主要事業



魚津市イメージキャラクター
「ミラたん」

《 心躍る うるおいの舞台 魚津 笑顔で絆つなぐまち 》

特定政策分野を推進する主要事業

①教育環境充実		H31事業費	事業担当	資料頁
拡充	◇<u>小学校情報化事業</u> 星の杜小、道下小、経田小に校内無線LAN環境、タブレットPC、電子黒板を整備するとともに、ICT支援員を配置する。	21,521千円	教育総務課	P.9
継続	◇<u>英語教育推進事業</u> ○小学校からの英語教育推進、小学校専任のALTの配置等 ○英語教育推進計画の策定 ○教員研修の推進	20,318千円	学校教育課	P.10
新規	◇<u>特別支援教育コーディネーターの配置</u> 幼・保・小中・高及び関係機関との連携を支援するコーディネーターを配置し、早期支援や切れ目のない支援体制の充実を図る	2,761千円	学校教育課	P.11
新規	◇<u>地場産業体験学習</u> 「魚津ならではの体験学習」(農業体験、漁業体験、製造体験等)を民間・企業等と連携して実施することで、ふるさと教育の充実を図る	593千円	学校教育課	P.12
拡充	◇<u>友好親善都市交流事業</u> 8月3日(土)～5日(月)井原市児童20名が魚津市を訪問 北海道東川町の越中踊りこども保存会(小中学生会員約15名)とせり込み蝶六保存会との交流も合同で実施	987千円	生涯学習・スポーツ課	P.13
新規	◇<u>魚津市史(自然編)刊行</u> 魚津市域の自然を資料に基づいて、フルカラーの写真・図版を多く用い、ビジュアル的にも市民が親しみやすいものを刊行する B5版、約600ページ、1,000部刊行予定	7,153千円	生涯学習・スポーツ課	P.14
拡充	◇<u>芸術文化振興事業(魚津市文化協会創立30周年記念事業)</u> 協会創立30周年を迎え、友好親善都市である岡山県井原市との文化交流を行うとともに、文化に造詣の深い著名人による講演会の開催など、魚津市の文化振興を図る	1,500千円	生涯学習・スポーツ課	P.15
拡充	◇<u>図書館子育て支援事業</u> 絵本の読み聞かせを通じて、赤ちゃんと保護者のふれあいを深め、赤ちゃんの健やかな成長を図る	300千円	図書館	P.16
拡充	◇<u>(仮称)富山湾の魅力発見～リュウグウノツカイ事業～〔水族館事業特別会計〕</u> 新規 ○富山湾の深海性魚介類の生態等について、富山県水産研究所と連携した調査研究の実施 新規 ○子供向けのイベントやシンポジウムの開催 新規 ○富山湾の魅力発信	2,674千円	魚津水族館	P.17

②子育て支援		H31事業費	事業担当	資料頁
新規	<u>◇住吉保育園民設民営化</u> 老朽化した園舎の建替えを行うとともに民間が運営する「上口保育園」と「魚津市立住吉保育園」を統合することで、教育・保育を一体的に提供できる認定こども園化を図る	208,801千円	こども課	P.18
新規	<u>◇魚津市子ども・子育て支援事業計画策定</u> 「第2期 魚津市子ども・子育て支援事業計画」の策定	3,883千円	こども課	P.19
継続	<u>◇公園整備事業</u> ○公園施設長寿命化対策支援事業(平成31年度～平成34年度) 公園施設長寿命化計画に基づき、各公園施設の維持修繕、改修を行う ○緑の基本計画策定(平成31年度) 緑化に関する市の将来像を描きながら、都市公園の整備方針、緑地の保全、緑化の推進及び地域等での管理活動に関する事項を定める	20,000千円	都市計画課	P.20
拡充	<u>◇図書館子育て支援事業</u> 絵本の読み聞かせを通じて、赤ちゃんと保護者のふれあいを深め、赤ちゃんの健やかな成長を図る	300千円	図書館	P.16 (再掲)
拡充	<u>◇特別支援教育コーディネーターの配置</u> 幼・保・小中・高及び関係機関との連携を支援するコーディネーターを配置し、早期支援や切れ目のない支援体制の充実を図る	2,761千円	学校教育課	P.11 (再掲)
拡充	<u>◇孫とお出かけ事業[水族館事業特別会計]</u> 世代間交流を通じて家族の絆を深めるため、祖父母と孫(ひ孫)が一緒に来館された場合に入場料を全額減免(富山県内12市町村・53施設が参加)	—	魚津水族館 埋没林博物館	P.21

③観光振興		H31事業費	事業担当	資料頁
継続	◇たてもんと全国植樹祭レガシー事業（企業版ふるさと寄附活用事業） ○「たてもんの森」プロジェクト事業 ○たてもん運営支援 ○ユネスコ登録PR、たてもん調査・資料収集	3,193千円 742千円 2,401千円 50千円	生涯学習・スポーツ課	P.22
拡充	◇インバウンド推進事業 新規 ○地域おこし企業人交流プログラム事業 民間企業から派遣を受けた職員が持つ人脈や専門的ノウハウや知見を活かした戦略的にインバウンド事業の推進 継続 ○海外プロモーション活動、海外メディア招聘等のPR活動	6,850千円	商工観光課	P.23
拡充	◇産業観光ツアー 参加企業の拡充や農業体験を盛り込むなどツアー内容を充実させ、本市の特色を活かした産業観光を推進する	185千円	商工観光課	P.24
新規	◇富山県統一バスロケーションシステム 富山県内全域の民営バス及び公営バスの位置情報や現在地から目的地までの乗継検索、最寄バス停検索などをパソコンやスマートフォンからでも行えるようにする。平成31年11月より稼働予定	593千円	商工観光課	P.25
新規	◇世界で最も美しい湾クラブ関連事業 「世界で最も美しい湾クラブ」総会最終日（10月20日）に参加者が来館される。学術的、文化的価値のある埋没林や蜃気楼の魅力を発信するためハイビジョンホールの英語訳表示や外国語パンフレットを充実させる	1,585千円	埋没林博物館	P.26
新規	◇博物館魅力アップ事業(館内3Dアートミュージアム) 目の錯覚等を利用した3Dアートを館内に仕掛けることで驚きや面白さを演出し、入館者によるインスタグラム等のSNSを通じて全国に博物館の魅力を発信してもらう	1,080千円	埋没林博物館	P.27
拡充	◇孫とお出かけ事業「水族館事業特別会計」 世代間交流を通じて家族の絆を深めるため、祖父母と孫（ひ孫）が一緒に来館された場合に入場料を全額減免（富山県内12市町村・53施設が参加）	—	魚津水族館 埋没林博物館	P.21 （再掲）

④産業振興		H31事業費	事業担当	資料頁
拡充	<u>◇新分野産業育成事業(つくるUOZUプロジェクト)</u> ○ゲーム開発者人材の裾野拡大・掘り起こしを目的としたイベントとして、フォーラム及び富山県・高岡市等との連携によるeスポーツ大会を開催 ○市内への事業所誘致に向けて、首都圏の情報サービス関連企業に対し広報活動を実施	9,400千円	商工観光課	P.28
新規	<u>◇企業適地調査事業</u> 市外からの企業誘致及び市内企業の移転先の確保に迅速に対応していくため、一定程度の面積を確保できるエリアにおいて、企業の立地に適した土地が把握するための調査を行うもの	5,000千円	商工観光課	P.29
新規	<u>◇サテライトオフィス設置促進事業</u> 市内においてサテライトオフィスを新設する県外企業に対し、サテライトオフィスの設置に係る費用の一部を助成することで、UIJターンの推進及び新たな雇用の創出を図る	2,200千円	商工観光課	P.30
継続	<u>◇企業立地助成事業</u> 市内における工場・事業所等の新規立地及び事業拡張による増設に対して助成を行うことにより、市内企業の振興及び雇用の拡大を図る	52,034千円 【H30年度3月補正前倒し】	商工観光課	P.31
新規	<u>◇高校生合同企業説明会</u> 市内の高校生に市内企業の魅力や事業内容を知ってもらう機会を新たに設け、一人でも多く市内企業へ就職する足がかりとする	100千円	商工観光課	P.32
拡充	<u>◇産業観光ツアー</u> 参加企業の拡充や農業体験を盛り込むなどツアー内容を充実させ、本市の特色を活かした産業観光を推進する	185千円	商工観光課	P.24 (再掲)
継続	<u>◇地域商社による魚津の食ブランディング事業</u> ○外部アドバイザーの招聘 ○地場産品のブランド化、商品開発支援	18,600千円	企画政策課	P.33
継続	<u>◇漁港整備事業</u> 平成24年度に策定した「経田漁港機能保全計画」に基づき、漁港施設の計画的な維持管理・更新等を実施し、施設の長寿命化を図る	26,000千円	農林水産課	P.34
新規	<u>◇水産業競争力強化緊急施設整備事業</u> 魚津漁協が、自社の水産加工場において施設の整備と機器の導入を行うことで、地元産水産加工品の生産能力の増強と輸出等による販路の拡大を図る	124,609千円 【H30年度3月補正前倒し】	農林水産課	P.35

⑤魅力的なまちづくり		H31事業費	事業担当	資料頁
新規	<u>◇総合計画策定</u> 2021年度からの第5次魚津市総合計画の策定を開始	6,830千円	企画政策課	P.36
拡充	<u>◇定住促進事業</u> 新規 ○移住支援事業・マッチング支援事業 新規 ○3大都市圏居住者移住支援事業 継続 ○若年移住者賃貸住宅助成事業	4,000千円 1,000千円 44,390千円	地域協働課	P.37
継続	<u>◇都市機能整備事業</u> 市街地を中心に都市機能を高めるための「立地適正化計画」の策定	5,000千円	都市計画課	P.38
継続	<u>◇魚津駅・新魚津駅及び駅前広場等整備事業</u> ○駅を中心としたまちづくりの基本構想を策定 ○北鬼江吉島線交差点改良 渋滞を緩和するための右折レーン新設による拡幅改良整備	28,007千円	都市計画課	P.38
継続	<u>◇公園整備事業</u> ○公園施設長寿命化対策支援事業(平成31年度～平成34年度) 公園施設長寿命化計画に基づき、各公園施設の維持修繕、改修を行う ○緑の基本計画策定(平成31年度) 緑化に関する市の将来像を描きながら、都市公園の整備方針、緑地の保全、緑化の推進及び地域等での管理活動に関する事項を定める	20,000千円	都市計画課	P.20 (再掲)
拡充	<u>◇木造住宅耐震改修支援事業</u> 木造住宅耐震改修の促進を図るため、改修に要する経費の4/5(国2/5+県1/5+市1/5)にあたる額(限度額100万円)を補助金として交付	4,000千円	都市計画課	P.39
拡充	<u>◇災害に強いまちづくり事業</u> 富山県地域防災力向上支援事業 継続 ○自主防災組織の自主的避難所の運営計画等の策定 新規 ○孤立集落資機材緊急整備	800千円	総務課	P.40
新規	<u>◇ケーブルテレビネットワーク光化促進事業(2期)</u> 災害情報や地域情報などの安定的な情報伝達を確保すると共に4K放送の番組提供やインターネットにおける通信サービス的高速大容量化に対応するために市内全域で光ケーブル網を構築する	483,951千円 【H30年度3月補正前倒し】	総務課	P.41
新規	<u>◇地方公共団体と連携したCO2排出削減促進事業</u> 地球温暖化防止のための国民運動「COOL CHOICE(=賢い選択)」の普及啓発を行う ○環境フェスティバル等イベントでのブース出展 ○普及啓発のためのケーブルテレビ番組制作	3,871千円	環境安全課	P.42
新規	<u>◇東山円筒分水槽周辺整備事業</u> 東山円筒分水槽は、立山黒部ジオパークの片貝川扇状地ジオサイトの一つとしても認定されており、将来的な来訪者や観光客等の駐車場整備を行う	1,000千円	環境安全課	P.43
新規	<u>◇農山漁村活性化対策事業</u> 中山間地である片貝地域において、豊かな山の自然や山村文化等の体験や宿泊を行うことができる施設として旧片貝小学校の整備を行い、地域の活性化と交流人口の増加を推進する。	46,604千円	地域協働課	P.44
新規	<u>◇下水道事業の公営企業会計への移行</u> 下水道事業の経営状況を的確に把握し、財政マネジメントの向上等にこれまで以上に取り組むため、平成31年度から公営企業会計に移行する	—	下水道課	P.45
拡充	<u>◇(仮称)富山湾の魅力発見～リュウグウノツカイ事業～「水族館事業特別会計」</u> 新規 ○富山湾の深海性魚介類の生態等について、富山県水産研究所と連携した調査研究の実施 新規 ○子供向けのイベントやシンポジウムの開催 新規 ○富山湾の魅力発信	2,674千円	魚津水族館	P.17 (再掲)

人口減少・高齢社会対策の強化を推進する主要事業

⑥人口減少対策		H31事業費	事業担当	資料頁
新規	◇魚津市子ども・子育て支援事業計画策定 「第2期 魚津市子ども・子育て支援事業計画」の策定	3,883千円	こども課	P.19 (再掲)
新規	◇総合計画策定 2021年度からの第5次魚津市総合計画の策定を開始	6,830千円	企画政策課	P.36 (再掲)
拡充	◇うおづりこみプログラム 新規 市内外の社会人が協働で地域活性化に関わる過程で魚津に愛着を持つ機会を創出する “ウチマゴ×ソトマゴプロジェクト”、“UONOWAプロジェクト”	2,087千円	企画政策課	P.46
拡充	◇定住促進事業 新規 ○移住支援事業・マッチング支援事業 新規 ○3大都市圏居住者移住支援事業 継続 ○若年移住者賃貸住宅助成事業	4,000千円 1,000千円 44,390千円	地域協働課	P.37 (再掲)
新規	◇25歳の成人式事業 「25歳」という年代を対象に、地元での同窓会的なイベントを開催することで、ふるさと魚津とのつながりを再認識してもらい、Uターンや定住の促進を図る	300千円	地域協働課	P.47
新規	◇ふるさとワーキングホリデー事業 都市部を中心とした県外の若者等が、働いて収入を得ながら一定期間魚津市に滞在し、市民との交流などによって魚津の暮らしを体験することで、魚津市との継続的なつながりを持つことを通して、移住につなげる	344千円	地域協働課	P.48
新規	◇農山漁村活性化対策事業 魚津漁業協同組合が中心となって取り組んでいる魚津港周辺の農泊事業と連携し、中山間地である片貝地域においても、豊かな山の自然や山村文化等の体験や宿泊を行うことができる施設として旧片貝小学校の整備を行う	46,604千円	地域協働課	P.44 (再掲)
継続	◇都市機能整備事業 市街地を中心に都市機能を高めるための「立地適正化計画」の策定	5,000千円	都市計画課	P.38 (再掲)

⑦高齢社会対策		H31事業費	事業担当	資料頁
新規	<u>◇総合計画策定</u> 2021年度からの第5次魚津市総合計画の策定を開始	6,830千円	企画政策課	P.36 (再掲)
継続	<u>◇健康うおづ プラス1</u> ○魚津の野菜を食べよう大作戦 魚津の野菜を使ったレシピカードの作成 ○健康づくりウォーキング ウォーキングマップの作成、ウォーキングイベントの開催	766千円	健康センター	P.49
継続	<u>◇都市機能整備事業</u> 市街地を中心に都市機能を高めるための「立地適正化計画」の策定	5,000千円	都市計画課	P.38 (再掲)
拡充	<u>◇孫とお出かけ事業〔水族館事業特別会計〕</u> 世代間交流を通じて家族の絆を深めるため、祖父母と孫(ひ孫)が一緒に来館された場合に入場料を全額減免(富山県内12市町村・53施設が参加)	0千円	魚津水族館 埋没林博物館	P.21 (再掲)

⑧東京オリンピック・パラリンピック対応		H31事業費	事業担当	資料頁
継続	◇東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致推進事業 ○オリンピック・パラリンピック関係者との情報交換 ○海外の選手・各競技協会役員の招聘 ○オリンピック・パラリンピック機運醸成教室の実施	275千円 409千円 202千円	生涯学習・スポーツ課	P.50
新規	◇ありそドームトレーニングマシン整備事業 老朽化が進むトレーニングマシンを更新し、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の事前合宿の練習施設としての利便性を高め、合宿誘致の推進を図る	21,000千円	生涯学習・スポーツ課	P.51
新規	◇田園サイクリングコース整備事業 世界で最も美しい湾クラブの2019年10月の総会までに、富山湾岸サイクリングコースと田園サイクリングコースを接続し、2020年オリパラに向け、魅力的なまちづくりを進める	12,000千円	建設課	P.52
新規	◇富山県統一バスロケーションシステム 富山県内全域の民営バス及び公営バスの位置情報や現在地から目的地までの乗継検索、最寄バス停検索などをパソコンやスマートフォンからでも行えるようにする。平成31年11月より稼働予定	593千円	商工観光課	P.25 (再掲)

教育環境充実

〈拡充〉 小学校情報化事業



【目的】

魚津市教育振興基本計画の基本理念である「人を思いやり、ともに学び合い、新しい時代を切り拓く人づくり」に基づき、すべての学校でICT機器を活用し、課題解決に向けた主体的・協働的・探求的な学び、子どもたち一人一人の能力や特性に応じた教育を行うとともに、社会で必要最低限な情報活用能力の育成に努める。

【概要】

平成31年度までにすべての小中学校に校内無線LAN環境、タブレットPC、電子黒板を整備するとともに、ICT支援員を配置する。

平成31年度に星の杜小、道下小、経田小に整備することで、市内の小学校すべてに共通のICT環境が整備される。(中学校は平成30年度整備済み)

【整備内容】

〈各学校毎に〉

校内無線LAN環境

タブレットPC 48台

電子黒板 4台

ICT支援員の配置

【整備計画】

整備年度	学校名
平成29年度	清流小
平成30年度	よつば小
平成31年度	星の杜小 道下小 経田小

【事業費】

総事業費 152,269千円(H29~H36)

H31予算額 21,521千円 (新規拡充分 9,562千円)

費用負担(千円)

市の負担 21,521千円
(うち教育振興基金 7,046千円)

担当課:教育総務課

総務係 23-1043

教育環境充実

＜継続＞英語教育推進事業

【目的】

児童が英語に親しむとともに、英語を通じて人と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や能力の向上を目指し、グローバル化に対応した英語教育を推進する。

【概要】

○小学校からの英語教育の推進

・小学校に専任のALT(2名)と英語活動指導員1名を配置し、小学校1年生からの外国語活動を全小学校で実施するとともに、コミュニケーションに主眼を置いた英語での体験活動や交流活動の取り組みを進める。

○英語教育推進計画の策定

・英語教育在り方検討会を設置し、2020年度の新学習指導要領の全面实施(小学校)に向けて、学年の系統性や平成30～31年度の移行期間等を考慮した学年別指導計画や指導体制、教材等に関する計画を作成する。

○教員研修の推進

・小学校英語の教科化や外国語活動の充実に向け、先進地視察や小学校教員の指導力・英語力の向上を図る研修を推進する。

【事業費】

20,318千円 (H30 20,836千円)

主な経費

・小学校2名ALT配置及び 中学校2名ALT配置	19,838千円
・英語活動指導員1名配置	354千円
・英語教育あり方検討会開催等	126千円



費用負担(千円)

市の負担 20,318千円

担当課:学校教育課

学校教育係 23-1044

教育環境充実

子育て支援

**＜新規＞特別支援教育推進事業
特別支援教育コーディネーターの配置**

【目的】

就学前から高校卒業まで、円滑な情報共有や引継ぎが適切に行われるためには、各校で作成している「個別の教育支援計画」が実効性のあるものとなるように適切に引き継がれる仕組みづくりが必要。

そこで、幼・保・小中・高及び関係機関との連携を支援するコーディネーターを配置し、早期支援や切れ目のない支援体制の充実を図る。

【概要】

○特別支援教育コーディネーターの役割

- ・定期的な園訪問等による幼・保との情報連携推進
- ・小中学校の特別支援教育(授業、個別の教育支援計画等)への指導助言
- ・悩みをもつ保護者との面談
- ・各校の就学支援委員会での助言
- ・特別支援教育研修の推進
- ・医療機関、厚生センター、児童相談所等との関係機関との連絡調整
- ・幼、保、小中、高とのケース会議の開催

【事業費】

2,761千円

主な経費

・コーディネーター賃金	2,278千円
・コーディネーター旅費	116千円
・コーディネーター社会保険料	367千円

費用負担(千円)

国の負担 920千円

(文科省 切れ目のない支援体制整備充実事業)

市の負担 1,841千円



担当課: 学校教育課

学校教育係 23-1044

教育環境充実

＜新規＞地場産業体験学習支援事業

【目的】

「ふるさとに誇りをもち、将来の夢に向かってチャレンジする子供」を育成するため、ふるさと学習の充実を図る。「魚津ならではの体験学習」(農業体験、漁業体験、製造体験等)を民間・企業等と連携をし、支援することで、ふるさと魚津のよさを実感する機会を創出する。

【概要】

○地場産業体験学習支援

- ・市内小学校の実態、ニーズに応じて各校の1学年が1メニューを選択
メニュー例:「カノコユリ」栽培体験、地引網体験、稲刈り体験、かまぼこづくり体験、企業見学体験 等

○民間・企業等との連携

- ・現在、民間、企業等において実施・試行されている、地場産業体験プログラムの活用及び地域地場産業事業者等との連携により事業実施

○移動方法

- ・市内小学校のスクールバスを活用

【事業費】

593千円

主な経費

- | | |
|------------------|-------|
| ・移動費(スクールバス活用) | 284千円 |
| ・体験学習参加費(各校1学年分) | 309千円 |

費用負担(千円)
市の負担 593千円



担当課:学校教育課

学校教育係 23-1044

教育環境充実

＜拡充＞ 友好親善都市児童交流事業

【目的】

友好親善都市井原市との児童交流事業は今回で36回目を迎え、平成31年度はせり込み蝶六踊りを縁に北海道東川町からも交流を求められていることから、本交流事業を合同で開催し、交歓会や見学等を通して参加する青少年の健全育成と今まで以上に相互の理解と友好を深める。

【概要】

◆開催日時 2019年8月3日(土)～5日(月)

◆井原市児童が魚津市を訪問(小学生20名＋引率4名)

※今回は、北海道東川町の越中踊りこども保存会(小中学生会員等15名程)とせり込み蝶六保存会との交流も予定されており、本交流事業と合同で実施予定。

◆行程(案)

(1日目)歓迎交流会、花火大会、たてもん祭り見学など

(2日目)県内観光、せり込み蝶六踊り練習、蝶六街流し参加など

(3日目)市内施設見学など

【事業費】

987千円 (H30 994千円)

◆主な経費

・使用料及び賃借料:314千円

(井原市児童等宿泊料など)

・委託料:215千円

(大型バス、高速道路、保険代など)

・需用費食糧費:266千円

(交流会食事、飲料、おやつなど)

・その他:192千円

(児童用土産、法被等クリーニング代など)



費用負担

市負担

987千円

担当課:生涯学習・スポーツ課

生涯学習・文化係 23-1045

教育環境充実

＜新規＞ 魚津市史(自然編)刊行事業

【目的】

魚津市の自然と歴史の関わりを明らかにし、最新の学術成果を市民に提供することで、市民の地域に対する理解を深めるとともに、市民自らが行うまちづくりに役立てる。

【概要】

- 魚津市域の自然を資料に基づいて、最新の研究レベルの内容を一般読者(高校生程度)が理解できるように簡潔・平易な文章で記述する。
- フルカラーの写真・図版を多く用い、ビジュアル的にも市民が親しみやすいものとする。
- 魚津市が近年とりくんできた「魚津の水循環」「生物多様性うおづ戦略」などの調査・研究の成果を充分に取り入れ、行政的課題も視野に入れる。
- 魚津市の地域的特性に焦点を当てるが、富山県や北陸地方、汎日本列島さらにグローバルな位置づけにも考慮する。
- 魚津市史の一環として自然編を刊行するので、歴史的背景や時代的変遷にも言及する。
- 自然界を細分した中で個々を記述するのではなく、生態系や環境などの学際的な視点にも配慮したものとする。
- B5版、約600ページ、1,000部

【事業費】

7,153千円 (H30 1,621千円)

費用負担

市負担	7,153千円
(うち地域づくり基金)	7,118千円)



担当課:生涯学習・スポーツ課
市史編纂室 23-1045

教育環境充実

＜拡充＞ 芸術文化振興事業 （魚津市文化協会創立30周年記念事業）

【目的】

協会創立30周年を迎え、友好親善都市である岡山県井原市との文化交流を行うとともに、文化に造詣の深い著名人による講演会の開催など、魚津市の文化振興をより一層図る。

【概要】

- ◆開催日時 2019年10月26日（土）～27日（日） 【市民文化祭と同時開催】
- ◆会場 新川文化ホール（大ホール・展示ホール）ほか
- ◆実施主体 魚津市文化協会
- ◆記念事業の内容

記念講演、記念式典、井原市芸能団体によるステージ発表、井原市美術作品の展示、記念交流会の開催、記念誌発行等を予定。

【事業費】 1,500千円

全体事業費 5,330千円のうち、
記念講演に係る講師料、会場使用料
井原市芸能団体移動経費、井原市美術
作品展示運搬経費等を支援する。

費用負担

市負担 1,500千円
（うち文化振興基金 1,500千円）



担当課：生涯学習・スポーツ課

生涯学習・文化係 23-1045

＜拡充＞図書館子育て支援事業

（はじめての絵本事業：ブックスタート）

【目的】

絵本の読み聞かせを通じて、赤ちゃんとの保護者のふれあいを深め、赤ちゃんの健やかな成長を図る。

こころとことばを育む“絵本”

【概要】

平成28年国際ソロプチミスト富山一東から「青少年の健全育成支援」活動の一環として、ブックスタート用の絵本購入費 30万円の寄附があり、基金として積み立てていた。この基金を活用して配布用の新しい絵本を購入し事業の充実を図る。

ボランティアさんが絵本を読んであげて、プレゼントします。



絵本と手作りバッグをプレゼント。赤ちゃんの健やかな成長を願い、メッセージを添えています。

※はじめての絵本事業：ブックスタート

ブックスタートは、1992年（平成4年）イギリスからはじまった活動。魚津市では、「はじめての絵本」という事業名称で、平成15年4月の4か月児健診時から開始。

絵本の購入費は市民や各種団体・企業からの寄附、読み聞かせとバッグ作成はボランティア、調整・実施を市（図書館）が行う。市民と行政の協働事業。

【事業費】 300千円

費用負担

市負担 300千円
（うち図書購入基金 300千円）

担当課：図書館

図書係 22-0462

＜拡充＞ 富山湾の魅力発見～リュウグウノツカイ事業～

【目的】

魚津水族館は、大正2年(1913年)に創設され、現在の三代目に至るまで100年以上にわたり、富山県唯一の「さかなの展示施設」として、親しまれてきている。昭和56年に開館した三代目は水族博物館として、展示のみならず、調査・研究等や普及活動を行ってきているが、地方創生が叫ばれる中、ふるさと教育など、地元・富山を知って、みんなが情報発信をすることが求められている。そこで、日本で一番歴史が古い魚津水族館が有する知見を活用し、地域への普及活動を強化することで地域の発展と魚津水族館の魅力向上を目指した事業を展開する。

【概要】

【幼稚園・保育園出前水族館】

市立幼稚園・保育園で、魚などの生物を使った学習スタイルやニーズを把握する。今後、出前水槽や生き物体験などの事業を展開することを目的にしている。

【小学校ふるさと教育発展事業】

ホタルイカシーズンである4～5月中に、各小学校へ暗室と水槽をデリバリーし、水族館職員が解説しながらホタルイカの生態を学ぶとともに、発光を体験する事業を行う。

【うおすい調査・研究発表事業】

魚津水族館では、水族館内外で多くの調査研究を行ってきており、関係会議などで発表を行っている。また、「うおすいサポーター」である「うおづ水辺の調査隊」隊員による研究発表も水族館で行っている。さらに、魚津水族館と共同研究等を行っている大学等の研究機関では、卒業発表・論文や学会発表・投稿論文として多くの成果を上げている。今後さらに富山県と連携した深海魚等の調査研究を進め、小中学生や一般の方に分かりやすく伝える研究発表会やシンポジウムといったイベントを行うことで、富山湾の魅力の発信し、広くふるさと教育・学習に寄与する事業を行う。

【うおすいファミリー活用事業】

「うおすいファミリー」において、水族館や他の生物系のキッズ職業体験等も行えるように改修する。さらに、英語教育を進めるために、講師や機材等を活用した英語学習展示やイベントの開催を検討する。

【うおすいイクメン推進事業】

社会的ニーズの高い割に敷居が高いイクメン育成のために、魚津水族館を使った「イクメンのための水族館講座」や「イクメン展示」等を企画し、試行しながら効果的な事業を開発する。

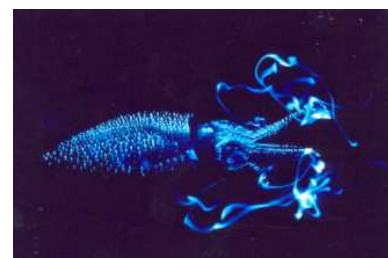
【事業費】

2,674千円

費用負担

市負担

2,674 千円



担当課: 水族博物館

飼育研究係 24-4100

子育て支援

＜新規＞ 住吉保育園民設民営化事業

【目的】

魚津市立住吉保育園は、園舎が老朽化していることから、建替えを行うとともに民間が運営する「上口保育園」と「魚津市立住吉保育園」を統合することで、教育・保育を一体的に提供できる認定こども園化を図る。

【概要】

平成30年5月31日に開催した魚津市立住吉保育園民設民営化に係る運営法人選定委員会にて社会福祉法人魚津保育会が運営移管先法人に決定した。

社会福祉法人魚津保育会が運営する「上口保育園」と「魚津市立住吉保育園」を統合し、現在の住吉保育園の場所で、新園を認定こども園として建設する。

2020年4月からの運営にむけ整備を行う。

- ・事業主体：社会福祉法人魚津保育会
- ・保育所等施設整備交付金・認定こども園施設整備交付金活用
国1／2 市1／4 法人1／4

【事業費】

208,801千円

費用負担	
国負担	139,201千円
市負担	69,600千円
(うち市債	55,600千円)



担当課：こども課

保育係 23-1079

子育て支援

人口減少対策

＜新規＞ 第2期子ども・子育て支援事業計画策定

【目的】

魚津市の子育て支援を総合的、計画的に進めるため、市の基本方針、目標設定に向けた各種取組を検討し、2020年度から5年間の「第2期 魚津市子ども・子育て支援事業計画」を策定する。

【概要】

平成27年3月に策定した第1期の「魚津市子ども・子育て支援事業計画」が平成31年度末をもって終了します。

そこで、2020年度からの5年間の「第2期子ども・子育て支援事業計画」の策定にあたり、まずは平成30年11月に魚津市の子ども・子育てに関するアンケート調査を行ったところです。

平成31年度においては、アンケート結果を参考にしながら、子ども・子育て支援策に関する魚津市の現状と課題を分析・整理し、利用者ニーズの把握を行うことで、魚津市の基本方針、目標設定、目標達成に向けた各種取組を検討し、2020年3月までに支援事業計画の完成を目指します。

子どもの健やかな成長を促す環境の整備や子どもと家庭を地域全体で支えていく取組を推進します。

【事業費】

3,883千円 (H30 129千円)

費用負担

市負担

3,883千円



担当課:こども課

保育係 23-1079

子育て支援

魅力的なまちづくり

＜継続＞ 公園整備事業
公園施設長寿命化対策支援事業

【目的】

公園施設の計画的な維持修繕、更新を行い施設の長寿命化を図りながら、ライフサイクルコストの縮減を図るとともに、地域の特性に応じた公園の利活用を検討し、誰もが安全で安心して利用でき、魅力ある公園づくりを目指す。

【概要】

○公園施設長寿命化対策支援事業（平成31年度～平成34年度）

- ・公園施設長寿命化計画に基づき、各公園施設の維持修繕、改修を行う。
- ・平成31年度 修繕改修予定箇所・・・桃山運動公園・総合公園の遊具

○緑の基本計画策定（平成31年度）

- ・緑の基本計画は、緑化に関する市の将来像を描きながら、都市公園の整備方針、緑地の保全、緑化の推進及び地域等での管理活動に関する事項を定める計画

【事業費】

20,000千円(H30 15,000千円)



公園の活用



地域での管理活動

費用負担

国負担	10,000千円
市負担	10,000千円
（うち市債	9,000千円）
（うち公共施設整備基金	1,000千円）



安心・安全に利用できる公園

担当課：都市計画課

計画公園係 23-1030

子育て支援

観光振興

高齢者対策

＜新規＞ 孫とお出かけ事業

【目的】

高齢者の外出の機会を促進するとともに、世代間交流を通じて家族の絆を深めるために祖父母と孫（ひ孫）が一緒に来館された場合に入場料を全額減免し、地域の文化や歴史、科学への関心を幅広い年齢層に広めることを目的にしています。

【概要】

「孫とお出かけ事業」は、事業参加自治体に居住する祖父母が、孫（ひ孫）と一緒に対象施設に来館した場合に対象となるもので、富山県内12市町村・53施設が参加（平成31年2月現在）しており、魚津市では魚津埋没林博物館が平成30年度から参加しています。平成31年度からは魚津水族博物館も参加することとし、更なる高齢者の外出機会の促進と世代間交流の拡大を図ります。

○参加自治体及び施設数（平成31年2月現在）

富山市 14施設	砺波市 6施設	小矢部市 2施設
南砺市 14施設	射水市 2施設	高岡市 10施設
氷見市 2施設	滑川市 2施設	魚津市 1施設

【事業費】

— 千円



担当課：水族博物館

管理係 24-4100

観光振興

＜継続＞たてもんと全国植樹祭レガシー事業

（文化財保存事業・文化財保護団体育成事業）

【目的】

「魚津のタテモン行事」のユネスコ無形文化遺産登録と全国植樹祭の開催を契機に、海と山をつなぐ文化を育て、森と海に恵まれた豊かな自然環境を次世代へ引き継ぐ市民意識の醸成を図る。行事継続が困難になりつつある、伝統文化の保存・継承に取り組むとともに、たてもんの魅力や価値を広く発信し、その魅力を体感してもらうなど、観光による交流人口の拡大及び魚津の応援団作りを通じて、地域の活性化を目指すもの。

【概要】

◆「たてもんの森」プロジェクト〔植樹管理等経費 742千円〕

平成29年度から3か年計画で、地元産の杉、ケヤキ及びヒノキでたてもんを製作できるよう植樹し、「たてもんの森」として整備する。「たてもんの森」の整備、育林、見守りなどを通じて、タテモン行事の保存・継承につなげる。

◆運営支援事業〔たてもん協力隊運営経費、祭り維持運営助成費等 2,401千円〕

たてもんボランティアの募集・確保、たてもんの修繕、提灯・ろうそく等の購入、その他運営に係る経費を助成。併せて、祭りの担い手となる後継者育成を支援。

◆ユネスコ登録PR、たてもん調査・資料収集〔調査・資料収集費等 50千円〕

たてもん祭りの歴史・由来などに関する調査・資料収集の継続。



【事業費】

3,193千円(H30 6,131千円)

費用負担

企業版ふるさと寄附3,100千円
市の負担 93千円

担当課

生涯学習・スポーツ課 23-1045

農林水産課 23-1036

企画政策課 23-1067

観光振興

＜拡充＞ インバウンド推進事業

【目的】

観光立国の実現に向け、国は2020年東京オリンピック・パラリンピックまでに4,000万人の外国人観光客の誘客を目指しており、本市においても、国や県等と連携し、台湾をはじめとした世界各国からのインバウンド観光客の誘客を図る。

【概要】

○地域おこし企業人交流プログラム事業

民間企業から派遣を受けた職員が持つ人脈や専門的ノウハウや知見を活かし、戦略的にインバウンド事業を推進する。

○受入体制の整備

多言語観光パンフレットの作成や指さし会話シートの作成

○海外プロモーション活動

県や近隣自治体、民間観光事業者等と連携し、本市の持つ「食」「泊」「自然」「祭り」といった地域資源を活かしたPR活動及び旅行商品の造成・販売の実施

○海外メディア等の招へい事業

招へいメディアが実際体験した、祭りや食、農林水産活動等の体験の紹介や感想等の発信及び雑誌等の記事として掲載する。

【事業費】

6,850千円 (H30 5,960千円)

費用負担

市負担

6,850千円



担当課: 商工観光課

観光係 23-1025

産業振興

観光振興

＜拡充＞ 産業観光ツアーの実施(産業観光推進事業)

【目的】

魚津市における農・林・水産・商工業などが持つ新たな可能性の掘り起こしや、既存の産業観光のブラッシュアップを図りながら、本市の特色を活かした産業観光を推進する。

また、産業観光を通して産業全般のさらなる振興を図るとともに、産業観光を観光分野における新たなコンテンツとして活用することで、交流人口の拡大につなげていく。

【概要】

平成30年度に開催した魚津産業フェア「まるまる魚津」において、試行的に産業観光ツアーを実施したところ、参加者の満足度が高く、また、今後も継続的に実施してもらいたいといった意見が多かったことから、参加企業の拡充や農業体験を盛り込むなどツアー内容の充実を図りながら実施する。

【事業費】

185千円 (H29 100千円)

費用負担

市負担

105千円

参加者負担

80千円



(尾崎かまぼこ館でのかまぼこ作り体験風景)

担当課: 商工観光課

商工労働係 23-6195

観光係 23-1025

観光振興

オリパラ対応

＜新規＞ 富山県統一バスロケーションシステム事業

【目的】

渋滞や降雪等で定時性の確保が困難なバスを安心して待つことができるよう、富山県内の民営バスと公営バスの位置情報や現在地から目的地までの乗換検索を行えるよう整備することにより、高齢者や観光客にも更なるバスの利用を動機付け利用者の拡大を図る。

【概要】

富山県内全域の民営バス及び公営バスの位置情報や現在地から目的地までの乗継検索、最寄バス停検索などをパソコンやスマートフォンからでも行えるようにする。平成31年11月より稼働予定。

【事業費】

593千円

整備費 408千円

維持管理費 185千円

費用負担

国負担 296千円

市負担 297千円



担当課：商工観光課

交通政策係 23-1380

観光振興

＜新規＞ 世界で最も美しい湾クラブ関連事業

（世界で最も美しい湾クラブエクスカーション）

【目的】

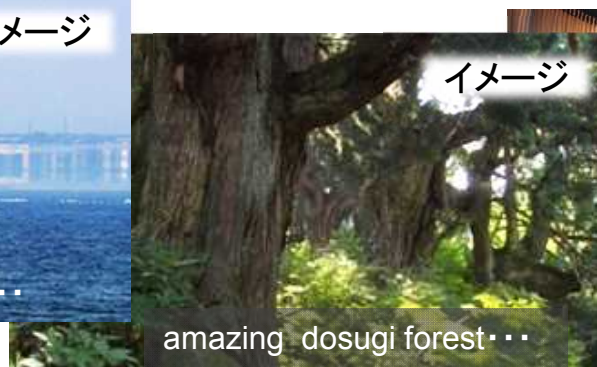
2019年10月に「世界で最も美しい湾クラブ」の総会が、富山県で開催される。クラブには26カ国1地域44湾が加盟しており、世界各国から多数の外国人が来県される。総会最終日（10月20日）のエクスカーションでは当館にも参加者が来館されるため、学術的、文化的価値のある埋没林や蜃気楼の魅力を発信する絶好の機会ととらえ、外国語対応等を充実させる。

【概要】

ハイビジョンホールで上映する蜃気楼と洞杉の映像に英語訳の文字情報を表示することで、外国人にもその魅力を存分にPRする。

さらに、同ハイビジョン映像を映写するプロジェクターに不具合（映像の変色）があり、きれいな映像を提供するため修理を行う。

また、外国語パンフレットを博物館のリニューアルに伴い更新する。



【事業費】

1, 585千円

主な経費

・映像ソフト英語字幕版制作	350千円
・ハイビジョンプロジェクター修繕	765千円
・外国語(3か国)パンフレット作成	470千円

費用負担

市負担 1, 585千円

担当課: 埋没林博物館

管理係 22-1049

観光振興

＜新規＞ 博物館魅力アップ事業

（館内3Dアートミュージアム事業）

【目的】

平成30年4月にリニューアルオープンしてから、当館には前年同期の2倍以上の来館者がカウントされるようになった。一方、入館料有料エリアへの入館者数は8%増にとどまっている。

カフェや木っずルームを利用する若者や小さなお子さん連れのファミリーが増えた。魅力的な仕掛けを施すことで、その世代の方々を有料エリアにも取り込む。

【概要】

目の錯覚等を利用した3Dアートを館内に仕掛けることで驚きや面白さを演出し、入館者によるインスタグラム等のSNSを通じて全国に博物館の魅力を発信してもらう。

無料エリアには、有料エリア内の埋没林展示館（水中展示館、ドーム館等）へ入館者を誘うための仕掛けを設置する。

有料エリア内の各展示館には、展示物と連動した3Dアートを展開する。例えば、約2000年前のスギの原生林を彷彿させるコンテンツ（動植物など）を設置することで、展示物全体をより魅力的に演出する。



【事業費】

1,080千円

費用負担
市負担 1,080千円

担当課: 埋没林博物館

管理係 22-1049

＜拡充＞ 新分野産業育成事業(つくるUOZUプロジェクト)

【目的】

地理的な制約を受けず、新たな就業人口の流動が期待できるゲーム関連産業等に係る人材の育成及び掘り起こしを継続しながら、ゲーム等開発のまちとしての風土形成を進め、首都圏からのゲーム関連企業の誘致や創業支援につなげていくとともに、市内におけるものづくり産業の活性化を図る。



【概要】

(1) 裾野拡大事業

ゲーム開発者人材の裾野拡大・掘り起こしを目的としたイベントとして、フォーラム及び富山県・高岡市等との連携によるeスポーツ大会を開催する。また、魚津産業フェアまるまる魚津に専用ブースを出展し、一般来場者に対して取組内容の周知を図る。

(2) トレーニング事業

ゲーム開発者の技術力育成を目的として、入門講座、ゲームハッカソン及び開発ゲームの講評を行うフィードバック会を定期的を開催する。

(3) ゲーム業界力向上事業

民間企業へ委託せずとも事業遂行が可能な体制を整え、事業の自走化と持続性の担保を図るため、イベント運営やコミュニティ支援の手法をマニュアル化し、実行委員会や市内事業者へのノウハウ移管を行う。

(4) 企業誘致事業

首都圏の情報サービス関連企業に対して、これまでの取組みで発掘・育成したITエンジニアを中心とする人材のスキル等や市が独自にもつ助成制度について広報活動を実施し、市内への事業所誘致を図る。

【事業費】

9,400千円 (H30 9,000千円)

費用負担

国負担	4,700千円
市負担	4,700千円



(ゲームフォーラム2018の様子)

担当課: 商工観光課

商工労働係 23-6195

産業振興

＜新規＞ 企業適地調査事業

【目的】

市外からの企業誘致及び市内企業の移転先の確保に迅速に対応していくため、圃場整備などの土地改良事業による受益地となっていない農地で、一定程度の面積を確保できるエリアにおいて、企業の立地に適した土地が把握するための調査を行うとともに、土地所有者に対し、将来的な企業立地に向けた土地売買等に対する潜在的な意向調査を進める。

【概要】

調査エリアにおける土地の基礎情報を事前に担当課において収集・整理のうえ、以下の事項について、民間事業者へ事業委託のうえ調査を行う。

- 物的条件調査（土地利用、文化財分布、環境汚染・災害履歴等の調査）
- 周辺施設調査（水路等施設、浸水のリスク等に関する調査）
- 社会的条件調査（周辺利害関係者の把握等に関する調査）
- 土地所有者意向調査（企業立地、農地売却等に対する意向調査）

【事業費】

5,000千円

費用負担
市負担 5,000千円



担当課: 商工観光課

商工労働係 23-6195

産業振興

＜新規＞ サテライトオフィス設置促進助成事業

【目的】

市内においてサテライトオフィスを新設する県外企業に対し、サテライトオフィスの設置に係る費用の一部を助成することで、ＵＩＪターンの推進及び新たな雇用の創出を図るとともに、働く場所を問わない新しい働き方の普及・啓発につなげていく。

【概要】

事務処理業務を行うサテライトオフィスを新設した県外企業に対して、以下の内容により助成金を交付する。

＜対象業種＞

- ・ 情報サービス業、広告業、デザイン業、コールセンター業など

＜交付要件＞

- ・ 新設するサテライトオフィスに１人以上の従業員を配置すること
- ・ サテライトオフィスの転貸借契約を締結していないこと

＜対象経費＞

- ・ 開設費（内装改修費、インターネット等工事費、セキュリティ経費）
- ・ 運営費（土地及び建物質借料、通信回線使用料、システム保守料）

＜助成金額＞※補助率30%

- ・ 開設費 限度額100万円（１回限り）
- ・ 運営費 限度額10万円/月（最長24月）

【事業費】

2, 200千円

費用負担
市負担 2, 200千円



担当課: 商工観光課

商工労働係 23-6195

＜継続＞ 企業立地事業**【目的】**

市内における工場・事業所等の新規立地及び事業拡張による増設に対して助成を行うことにより、市内企業の振興及び雇用の拡大を図る。

【概要】**1、企業立地助成金(市単独)****◎助成金概要****(交付要件)**

工場・事業所の新設・増設等に要する投下固定資産額が3,000万円以上であり、かつ県内在住の労働者を10人以上新規に雇用すること。

(補助内容) ※限度額: 1億円

- ・固定資産(土地(9146.07㎡)、建物及び償却資産)取得額の10%
- ・市内在住新規雇用者1名につき20万円

◎対象案件 1件(製造業)**◎助成対象経費(取得額)**

395,268千円(土地144,193千円、建物242,125千円、償却8,950千円)

◎助成額見込

41,526千円(固定資産取得分39,526千円、新規雇用者分10人×200千円)

2、中小企業立地促進助成金(市単独)**◎助成金概要****(交付要件)**

工場・事業所の新設・増設等の用に供する土地又は建物を取得し、かつ市内在住の労働者を3人以上新規に雇用すること。

(補助内容) ※限度額: 土地及び建物取得助成を合計して2,000万円

土地: 取得額の30%又は取得面積(1994.75㎡)×3,000円/㎡のいずれか低い額

建物: 取得額の5%(改装費用含む)

◎対象案件 1件(製造業)**◎助成対象経費(取得額) 130,460千円(土地40,000千円、建物90,460千円)****◎助成額見込 10,508千円**

【事業費】 当初予算	10,811千円
12月補正	9,700千円
3月補正	52,034千円
計	72,545千円

費用負担
市負担 72,545千円

担当課: 商工観光課

商工労働係 23-6195

産業振興

＜新規＞ 高校生合同企業説明会(若者雇用促進事業)

【目的】

市内企業の人手不足解消に向けて、就職希望の高校生を対象に市内企業による合同企業説明会を開催し、市内企業の魅力や事業内容をさらに深く知ってもらうことにより、雇用の確保及び就業の促進を図る。

【概要】

市内高校に通う生徒のうち就職を希望する生徒の多くが市外の大手企業等へ就職している実態を踏まえ、市内の高校生に市内企業の魅力や事業内容を知ってもらう機会を新たに設け、一人でも多く市内企業へ就職する足がかりとするため、以下のとおり高校生を対象とした合同企業説明会を開催する。

(1) 対象者

市内高校に通う高校3年生及び市内在住の高校3年生

(2) 開催時期

平成31年5月～6月頃を予定

【事業費】

100千円

費用負担
市負担

100千円



担当課: 商工観光課

商工労働係 23-6195

＜継続＞ 地域商社による魚津の食ブランディング事業

【目的】

国の地方創生推進交付金を活用し、「地域商社機能」を担う組織の立ち上げに向けた取組みを進める。魚津の魅力ある地域資源や製品の磨き上げや販路開拓を一元的に担い、価値に見合った価格での販売を行う組織を育成することにより、地域経済の活性化を目指す。

【概要】

◎外部アドバイザーの招聘

魚津市地方創生アドバイザーを本事業のコーディネーターとして引き続き招聘する。

◎地場産品のブランド化、商品開発支援

地場産品の発掘や磨き上げを進め、市場が拡大しつつあるふるさと寄附の返礼品、日本橋とやま館、うおづやなど、各方面に展開する。

併せてプロモーション活動など販売促進を行い、将来的に地域商社が担う中核事業の構築を目指す。

【事業費】

18,600千円 (H30 21,583千円)

主な経費

・外部アドバイザー招聘	3,600千円
・地場産品の掘り起こし、磨き上げによる商品開発支援	5,000千円
・マーケティング支援	3,000千円
・販売促進活動支援	3,000千円
・広告、プロモーション	4,000千円

費用負担

国負担	9,300千円
市負担	9,300千円



担当課: 企画政策課

企画係 23-1067

産業振興

＜継続＞漁港整備事業

【目的】（水産物供給基盤機能保全事業）

平成24年度に策定した「経田漁港機能保全計画」に基づき、平成26年度から6ヵ年をかけて漁港施設の計画的な維持管理・更新等を実施し、施設の長寿命化を図る。

【概要】

◆経田漁港の各施設について「経田漁港機能保全計画」に基づき、保全対策工事を計画的に行う。

◆事業期間：平成26年度～平成31年度（予定） ◆総事業費：310,000千円

◆岸壁補修工：L=554m、浚渫工事：V=14,500m³ 等

◆平成26年度～平成30年度実績（見込）

岸壁補修工：L=520m 航路路浚渫：V=11,300m³ 事業費：282,486千円

【事業費】主な内訳：経田漁港岸壁保全 L=34m 18,000千円
経田漁港浚渫 V=3,200m³ 8,000千円

26,000千円（H30当初 50,000千円）

費用負担（千円）

市の負担	6,500千円	（うち市債	5,850千円）
県の負担	19,500千円	（うち国の負担	13,000千円）
（水産物供給基盤機能保全事業補助金）			



経田漁港航路浚渫工事



老朽化により開孔した水中鋼構造物

担当課：農林水産課

水産振興係 23-1033

＜新規＞水産業競争力強化緊急施設整備事業**【目的】**

魚津漁協は、これまでLLP「JF富山フーズネットワーク」を設立し、ホタルイカ等の水産加工品の製造に取り組んできた。

魚津漁協が食品加工場の整備及び機器の導入を行い、製造工程の効率化及び高度な衛生環境を構築することで水産加工品の生産能力を増強する。

輸出することも視野に入れた水産加工品の製造などにより需要拡大を図るとともに、地元水産物を加工原料とすることにより魚価の向上に繋げる。

LLP(有限責任事業組合)「JF富山フーズネットワーク」

魚津漁協と水産加工業者4社及び県立大教授OB2名により平成18年に設立され、滑川市にある魚津漁協の工場で食品加工を行っている。

【概要】

○事業実施主体 魚津漁業協同組合

○事業内容 加工工場内の整備及び加工機器等の導入

◆製造ラインの自動化

ホタルイカの自動ボイル設備等の導入により、手作業での工程を自動化し、作業効率化と生産拡大を図る。

◆高度な衛生環境の構築

高度な衛生環境で作業が出来るスペースを確保するために施設内を整備する。

◆製品や原料の保管能力の向上

容量が不足している原料や製品を保管するための冷凍冷蔵庫を増設する。

○補助対象事業費 207,683千円

(施設整備費 26,187千円、機器の導入費等 181,496千円)

【事業費】

124,609千円

(※ 207,683千円×6/10)

費用負担 (千円)

国の負担 103,841千円(補助率 1/2)

県の負担 20,768千円(補助率 1/10)

市の負担 0千円



担当課:農林水産課

水産振興係 23-1033

魅力的なまちづくり

人口減少対策

高齢社会対策

＜新規＞ 総合計画策定

【目的】

第4次魚津市総合計画の計画期間(2011～2020)が残り約2年となることから、2021年度からの次期計画(第5次魚津市総合計画)の策定を開始する。

【概要】

(2019年度)

- ・魚津市総合計画審議会設置(学識経験者、関係団体等)
- ・計画策定諮問
- ・現計画の進捗、今後の課題等の調査分析
- ・アンケート調査、ヒアリング等の実施

(2020年度)

- ・計画案の検討、とりまとめ
- ・計画案の答申
- ・議会の議決を経て策定

【事業費】

6,830千円 (H30 410千円)

主な経費

- | | |
|-----------------|---------|
| ・魚津市総合計画審議会の運営費 | 810千円 |
| ・市民アンケート実施費 | 1,020千円 |
| ・策定支援業務委託費 | 5,000千円 |

費用負担

市の負担 6,830千円

担当課:企画政策課

企画係 23-1067



魅力的なまちづくり

人口減少対策

＜拡充＞ 移住支援金交付事業
(国事業名:移住支援事業・マッチング支援事業)

【目的】

東京一極集中の是正を目的に国が実施する移住支援事業と併せる形で、市独自で移住者に対する助成事業を行うことで、より広い範囲で市への移住を促し、人口減少対策につなげる。

【概要】

①移住支援事業・マッチング支援事業(国事業)

東京23区に5年以上継続して居住していた人を対象に、地方へ移住し、かつ対象となる中小企業等に就職することを条件とし、最大1,000千円の助成を行う。(世帯移住:1,000千円、単身移住:600千円)。

※ 同事業の別メニューにおいて、地方で社会的事業を新たに起業した者に対する最大2,000千円の支援金制度もあるが、市の費用負担は無い。(国1/2、県1/2)

②3大都市圏居住者移住支援事業(市単事業)

東京圏(東京、埼玉、千葉、神奈川)、中京圏(愛知、三重、岐阜)、関西圏(大阪、京都、兵庫、奈良)の3大都市圏に、5年以上継続して居住していた人を対象に、魚津市への移住支援金最大100千円を助成する。(世帯移住:100千円、単身移住:60千円)

③若年移住者賃貸住宅助成事業(市単事業)※継続

40歳未満であり、魚津市内の賃貸住宅に居住した方を対象に、入居費用(敷金、礼金、仲介手数料等)の2分の1を助成する。(上限10万円)

※H30まで実施していた同事業を組み換え、家賃助成を廃止し、入居費助成を拡充。(従来:3分の1、上限5万円)

※①と②は併用可能とする。

【事業費】

①わくわく地方生活実現政策パッケージ(国事業)
4,000千円(国2,000千円、県1,000千円、市1,000千円)

②3大都市圏居住者移住支援事業(市単事業)
1,000千円(市1,000千円)

③若年移住者賃貸住宅助成事業(継続事業)
8,000千円(市8,000千円)

※ H30年度以前の申請者に対する家賃助成費用等を別に計上しているため、総額では44,390千円となる。



担当課: 地域協働課
定住応援室 23-1095

<継続> 都市機能整備事業<継続> 魚津駅・新魚津駅及び駅前広場等整備事業

【目的】

人口減少や高齢化社会などの社会情勢の変化に対応するため、市街地を中心に都市機能を高めるとともに、各生活拠点地域から市街地までのアクセス向上を図ることにより、安心・安全で快適な生活環境を実現し、魅力あるまちづくりを目指す。

【概要】

◆ 都市機能整備事業 5,000千円

○立地適正化計画【平成30年～平成31年の2ヶ年で策定】

市が抱える課題の抽出や解析を行い、まちづくりの方針、課題解決のために必要な施策、誘導区域等を決める。

◆ 魚津駅・新魚津駅及び駅前広場等整備事業 28,007千円

○駅を中心としたまちづくりの基本構想を策定

魚津駅・新魚津駅周辺まちづくり協議会で、鉄道駅が担うべき役割や機能等を整理し、駅及び駅周辺の青写真を描く。

○(都)北鬼江吉島線交差点改良【平成30年から3ヶ年で完了予定】

北鬼江一丁目地内交差点部の渋滞を緩和するために、右折レーンを新設する拡幅改良整備を実施する。

交差点改良



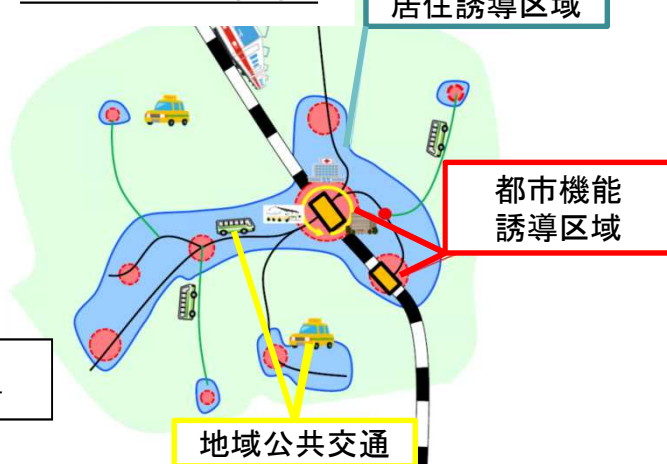
【事業費】

33,007千円 (H30 55,177千円)

費用負担

国負担	15,750千円
市負担	17,257千円
(うち市債)	11,900千円)

立地適正化計画



担当課:都市計画課

計画公園係 23-1030

魅力的なまちづくり

＜拡充＞木造住宅耐震改修支援事業

【目的】

地震発生時における木造住宅の倒壊等による災害を防止するため、木造住宅耐震改修の促進を図る。

【概要】

◎事業内容

耐震改修に要する経費の4/5(国2/5+県1/5+市1/5)にあたる額
(限度額100万円)を補助金として交付する。

－国の耐震化に係る総合的支援メニューを活用

◎対象となる住宅

※次の要件をすべて満たすこと

- ①木造の一戸建てで、階数が2以下のもの
- ②建物の過半が昭和56年5月31日以前に着工したもの
- ③木造の骨組みで造られたもの
- ④日本建築防災協会の基準による耐震診断を行った住宅
- ⑤国土交通省によって定められた基準値以上となる耐震改修を行う住宅

◎助成額【拡充】

H31～ 耐震改修経費の4/5にあたる額

(限度額100万円－国50万円、県25万円、市25万円)

H17～H30 耐震改修経費の2/3にあたる額

(限度額60万円－県30万円、市30万円)

【事業費】

事業費 4,000千円

費用負担(千円)

国の負担	2,000千円
県の負担	1,000千円
市の負担	1,000千円



担当課：都市計画課

建築住宅係 23-1031

魅力的なまちづくり

＜拡充＞ 総合防災訓練事業

富山県地域防災力向上支援事業

【目的】

地域の防災力向上を図るため、①自主防災組織の自主的避難所の運営計画等の策定に対し支援するとともに、②孤立のおそれのある集落への防災資機材等の整備を行うもの。

【概要】

富山県地域防災力向上支援事業

①【継続】

地域の自主的避難所運営計画等作成モデル事業

【内容】

自主防災組織等が、大規模災害を想定した図上訓練等を行いながら、避難計画及び避難所運営計画を作成する事業に対して補助するもの

【対象】

- ・防災マップづくりへの経費
- ・避難所運営計画作りへの経費 など

【実施主体】

地域自主防災組織

【事業費】

400千円＝200千円×2組織分

【平成30年度】

200千円：1組織 100千円：1組織（合計2組織）

②【拡充】

孤立集落資機材緊急整備事業

【内容】

孤立集落での住民による防災活動が円滑に行えるよう、孤立集落の新たな通信機器や防災資機材の整備に対して補助するもの

【対象】

衛星携帯電話、無線通信機、発電機、投光機、テント など

【実施主体】

市内の孤立するおそれのある集落

【事業費】

400千円＝200千円×2組織分

【備考】

市内の孤立集落24中、15実施済み

【事業費】

800千円（H30 300千円）

費用負担

県負担 400千円

市負担 400千円

担当課：総務課

防災係 23-1078



＜拡充＞ 魚津市ケーブルテレビネットワーク光化促進事業(2期)

【目的】

災害情報や地域情報などの安定的な情報伝達を確保すると共に4K放送の番組提供やインターネットにおける通信サービスの高速大容量化に対応するために市内全域で光ケーブル網を構築する。

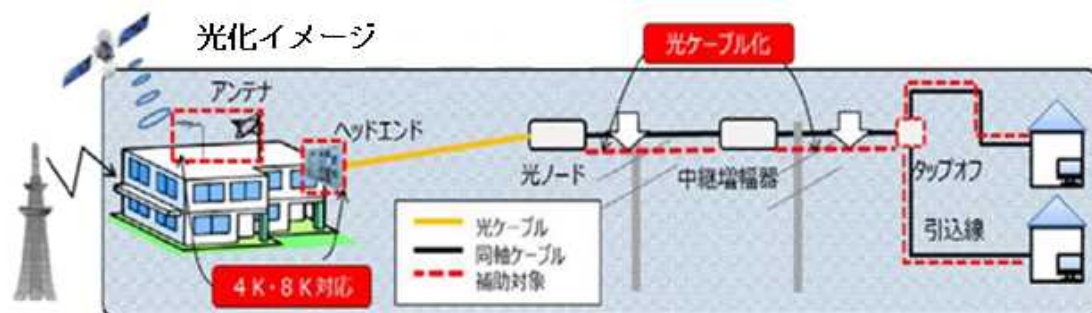
【概要】

平成30年6月から整備しているケーブルテレビネットワーク光化促進事業（1期）について現在、道下・経田地区の1部地域にて光ケーブルの環境を構築している。引き続き未整備地域について光ケーブルの環境を構築する。

今回光化の対象となる世帯等 14,097世帯

（うちCATV加入世帯 9,020世帯）

今回の整備区域内CATV加入率 約64%



【事業費】

483,951千円

【事業費】	6月補正	137,248千円
	3月補正	483,951千円
	合 計	621,199千円
【3月補正財源】	国	193,037千円
	市	290,914千円
	（うち市債	266,400千円）
【担当】	総務課	23-1021

魅力的なまちづくり

＜新規＞地方公共団体と連携したCO2排出削減促進事業

【目的】

地球温暖化防止のための国民運動「^{クール}COOL ^{チョイス}CHOICE(=賢い選択)」の普及啓発を通年にわたり展開し、地域の生活スタイルや個々のライフスタイル等に応じた効果的かつ参加しやすい取組の推進や住民の意識改革、自発的な取り組みの拡大・定着を図る。

【概要】

○各種イベントにおける「COOL CHOICE」啓発ブースの出展

環境フェスティバル等でのブース出展、「COOL CHOICE」賛同者を募集。

○ケーブルテレビ番組制作

15分番組×6本を制作委託し、通年にわたり放送。

○「COOL CHOICE」賛同者の増加に向けた広報活動

市民バスへのマグネット掲示、新聞折り込みチラシ、啓発グッズの作成等広報活動を展開。



【事業費】

3,871千円

費用負担

国負担	3,628千円
市負担	243千円

担当課:環境安全課

環境政策係 23-1004

魅力的なまちづくり

＜新規＞東山円筒分水槽周辺整備事業

【目的】

魚津市水循環遺産に登録・選定している「東山円筒分水槽」は、立山黒部ジオパークの片貝川扇状地ジオサイトの一つとしても認定され、来訪者や観光客等の駐車場整備が課題となっている。

来訪者の安全確保や今後の観光客増等に対応するため、隣接地を借り上げ、活用のための整備を段階的に行うもの。

【概要】

○隣接地借上

地権者や地元天神地区からの要望を受け、平成30年度から隣接民有地760㎡を公共用敷地として借上げ。

○敷地整備

堆積土砂の運搬、敷均し、整形など、地元天神地区との協働により実施する。

※ 将来的には、駐車場等への活用も含め、地元天神地区と連携し検討する。



【事業費】

1, 000千円

費用負担
市負担 1, 000千円

担当課: 環境安全課

環境政策係 23-1004

＜新規＞ 農山漁村活性化対策事業

【目的】

中山間地である片貝地域において、豊かな山の自然や山村文化等の体験や宿泊を行うことができる施設として旧片貝小学校の整備を行う。市内外から訪れる人へ魚津港周辺の農泊事業とも連携しながら、水循環を生かした山と海をつなぐ魚津の魅力を幅広く発信し、さらなる片貝地域の活性化と交流人口の増加を推進する。

【概要】

◆旧片貝小学校施設 改修整備工事

- ・内装制限、防火区画
- ・排煙設備の設置
- ・非常照明、自動火災報知機の設置
- ・調理台のかさ上げ等

◆交流促進ソフト事業

- ・ホームページ、PR動画の作成等

【事業費】

46,604千円 (H30 0円)

費用負担

国負担 23,852千円
[農山漁村活性化対策整備交付金]
市負担 22,752千円
(うち 市債 17,000千円)

担当課: 地域協働課

市民交流係 23-1131



＜新規＞下水道事業の公営企業会計への移行

【目的】

下水道事業の経営環境は、人口減少等による料金収入の減少や、施設の老朽化に伴う更新など、今後も厳しさを増すことが見込まれる。こうした状況を踏まえ、下水道事業の経営状況を的確に把握し、財政マネジメントの向上等にこれまで以上に取り組むため、平成31年度から公営企業会計に移行する。

【概要】

下水道事業の公営企業会計の適用は、県内10市では7番目である。公営企業会計を適用することにより、民間企業と同様の財務諸表（貸借対照表、損益計算書等）を作成し、下水道事業の収支のバランスや資産等を正確に把握し、経営状況の見える化を図る。

また、平成31年度の主な事業は、以下のとおり。

【平成31年度の主な事業】

公共下水道及び雨水幹線整備事業 311,000千円（H30 908,000千円）

- ・第6期区域（江口、大海寺野）等の管渠整備事業
- ・こうなぎ川1号雨水幹線整備事業

費用負担 国の負担 106,500千円、
市の負担 192,100千円（うち市債 188,200千円）
その他 12,400千円

ストックマネジメント計画策定 31,600千円（H30 25,000千円）

- ・老朽化する処理場、マンホールポンプなど、施設の更新計画の策定

費用負担 国の負担 15,800千円、市の負担 15,800千円



魚津市浄化センター

担当課：下水道課

【公営企業会計】 業務係 23-1038

【主な事業】 下水道工務係 23-1039

人口減少対策

＜拡充＞ うおづすりこみプログラム

【目的】

魚津に愛着をもつことで、将来、積極的に魚津地域で生活することを選択したり、一旦地域外に出ても人生の岐路において魚津地域に戻ってくることが選択肢となるきっかけを作る対象年代別プログラム。関係人口増加も目指す。

【概要】

対 象	実 施 内 容
小学生	地域の仕事体験プログラムを実施する(ジョブキッズ)
中学生	地域で仕事し活躍する大人が授業で講師を務める
高校生	課題解決型学習を実施(新川創生プロジェクトを含む)
大学生	県内大学等において魚津の取組や魅力を伝える講義を実施
社会人	首都圏等在住者と市内在住者が地域活性化のための事業提案し、協働により実行する。
新	平成30年度提案事業(官民協働により実施段階へ) “ウチマゴ×ソトマゴプロジェクト”…事業課による試行を開始 “UONOWAプロジェクト”…地域版ALIVE等によるプランの磨き上げ

【事業費】

2,087千円 (H30 732千円)

費用負担
市負担 2,087千円



担当課:企画政策課

企画係 23-1067

人口減少対策

＜新規＞ 25歳の成人式事業

【目的】

就職前、または就職して間もない時期であるとともに、家庭においても結婚や出産が身近に感じられるタイミングとなる「25歳」という年代を対象に、地元での同窓会的なイベントを開催することで、ふるさと魚津とのつながりを再認識してもらい、Uターンや定住の促進を図る。

【概要】

○既存の成人式と同様、該当年代を対象に実行委員会を組織し、企画・運営を委託する形式で実施する。（主催者は実行委）

○イベント内容は実行委で決めていくことになるが、市内の企業や店舗等に協力を依頼しながら、Uターンや定住につながる内容としていく。

○時期は県外転出者の参加しやすい年末を予定。

○開催場所は市内の閉校している学校の活用を予定。

【事業費】

300千円



費用負担
市負担 300千円

担当課：地域協働課
定住応援室 23-1095

人口減少対策

＜新規＞ ふるさとワーキングホリデー事業

【目的】

都市部を中心とした県外の若者等が、働いて収入を得ながら一定期間魚津市に滞在し、市民との交流などによって魚津の暮らしを体験することで、魚津市との継続的なつながりを持つことを通して、移住につなげる。

【概要】

交通費等を助成して魚津に「来てもらう」事業ではなく、自治体が受入れ事業所や条件等を周知し、それに対して参加を希望する者が実費で魚津に訪れ、働いて収入を得ながら地方の暮らしを体験する事業。
(宿泊費や市内での移動に関する助成等はある)

○受入れ期間は原則2週間から1ヶ月

○市民等との交流イベントも実施予定。

○メインのターゲットは大学生としており、受入れ時期は夏休み頃を予定
(地域の限定はしていないが、県内からの参加は対象外)

○受入れ予定人数は5名程度

○参加者の募集は首都圏等で行われるセミナー(国主催)への出展や、同様に国が運営するHPへの掲載等により行う。

【事業費】

344千円 (特別交付税の算定対象)

費用負担(千円)

市の負担 344千円
※総務省の実施する事業



担当課: 地域協働課

定住応援室 23-1095

高齢社会対策

＜継続＞ 健康うおづ プラス1

【目的】

“あと1皿野菜料理を食べる”“毎日プラス10分体を動かす”など、食や運動、健診による健康づくりに取り組むことで、市民の健康づくりに対する意識を高め、がんや糖尿病等の生活習慣病の予防を推進する。

【概要】

○魚津の野菜を食べよう大作戦

魚津産野菜を使ったレシピカードを作成し、スーパーマーケットや地域団体、企業等に配布する。また、健康センターや地区公民館等でのレシピカードを使った調理実習やCATVを活用した調理番組など、野菜の摂取量を増やすための普及啓発を行う。

- ・平成30年度実績 レシピカード(春夏秋冬)作成、年4回 20,000枚配布
調理実習の開催、CATVでレシピカードの紹介

○健康づくりウォーキング

各地区の地域振興会からウォーキングコースを提案してもらい、ウォーキングマップを作成する。また、マップを活用して、地域振興会や各種団体と連携したウォーキングイベントを開催するなど、歩くことによる健康づくりを推進する。

- ・平成30年度実績 6地区からコース提案あり、マップ作成
ウォーキングイベントの開催

【事業費】

766千円

費用負担
市負担 766千円



担当課:健康センター

健康づくり係 24-3999

オリパラ対応

＜継続＞東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致推進事業

【目的】

2020年に東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されるにあたり、卓球とボッチャ競技について大会出場選手の事前合宿を誘致することにより、選手と市民の交流の推進、競技スポーツ、生涯スポーツの振興、観光客の誘致等につなげる。

また、オリンピック・パラリンピック種目の体験事業等を行うことにより、オリンピック・パラリンピックの機運を醸成し、スポーツに取り組む意欲の向上につなげ、生涯スポーツの振興を図る。

【概要】

○オリンピック・パラリンピック関係者との情報交換

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会や日本ボッチャ協会、日本卓球協会等と、各競技の現状について情報交換し、今後の対応策を協議する。

○海外の選手・各競技協会役員の招聘

魚津市での事前合宿について、関心の高い国の選手や選手団関係者等を招聘し、練習施設、宿泊施設等の視察や事前合宿の日程・内容等の確認を行う。

○オリンピック・パラリンピック機運醸成教室の実施

トップアスリートを講師としたオリンピック・パラリンピック種目の体験教室を開催する。

【事業費】

886千円 (H30: 580千円)

(内訳)

・オリンピック・パラリンピック関係者との情報交換	275千円
・海外の選手・各競技協会役員の招聘	409千円
・オリンピック・パラリンピック機運醸成教室の実施	202千円

費用負担 市負担 886千円

担当課:生涯学習・スポーツ課
スポーツ係 23-1046

オリパラ対応

＜新規＞ ありそドームトレーニングマシン整備事業

【目的】

老朽化が進むトレーニングマシンを更新し、利用者の安全を確保することで、更なる利用者増加につなげる。

また、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の事前合宿の練習施設としての利便性を高め、合宿誘致の推進を図る。

【概要】

- ・筋力マシンの更新 約20台
- ・フリーウエイトの更新 約10種類
- ・カーペット等の張替え



【事業費】

21,000千円

費用負担

国負担	20,000千円 (電源立地促進対策交付金)
市負担	1,000千円

担当課：生涯学習・スポーツ課
スポーツ係 23-1046

オリパラ対応

＜新規＞ 田園サイクリングコース整備事業

【目的】

世界で最も美しい湾クラブの2019年10月の総会までに、富山湾岸サイクリングコースと田園サイクリングコースを接続し、2020年オリパラに向け、魅力的なまちづくりを進める。

【概要】

魚津市の中山間地域から富山湾の眺望を楽しめるように田園サイクリングコースの整備L=9.7kmを行う。

【事業費】 事業費12,000千円

ナビゲータライン(青線)の設置 L=9.7km

細目グレーチングに交換

舗装修繕



富山湾岸サイクリング写真

費用負担(千円)

県の負担 4,000千円

市の負担 8,000千円

※県補助: 富山県まちづくり総合支援
事業費補助金

担当課: 建設課

整備改良係 23-1029